

4 自分の将来の目標の実現に向かって努力したり、その方法を工夫・改善したりしていると思う。

生徒	2.9
----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
10	17	2	5

将来の目標や志を育み、社会的・職業的自立の基盤となる基礎的・汎用的な資質・能力の育成が課題であると捉えている。今後も、教育目標「自立と貢献」(稼げる大人、リーダーシップのとれる大人)に必要な資質・能力を明確にして、多様な主体(家庭、地域社会、関係機関)と連携・協働した様々な学びの可能性を追究していきたい。

保護者	2.7
-----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
8	12	11	4

5 先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができていると思う。

生徒	2.9
----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
7	17	8	2

大人や友達の話を素直に受け止められる生徒が多い。一方で、自分の考えを分かりやすく他者に伝えることに苦手意識を持つ生徒が少なくない。今後も、「聞く」という言語活動を大切にしながら、自分の考えをまとめ、効果的に「書く」「話す」「話し合う」ことのできる資質・能力を育成できるようにしたい。

保護者	3.0
-----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
11	14	8	2

6 他者との関わりを通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。

生徒	2.8
----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
10	13	6	6

小規模校ゆえの課題として、狭い範囲での固定化した関係性が挙げられる。今後は、「社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」によって、学校内外の人的・物的な教育資源を積極的に活用し、生徒の見方・考え方を広げたり深めたりすることができるような学びの機会を増やしたい。

保護者	2.8
-----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
8	17	6	4

7 調べたいことや知りたいことがある時、進んで資料や情報を集めたり、人にたずねたりしていると思う。

生徒	2.9
----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
10	13	9	2

受け身ではなく、主体的に学びに向かう力を身に付けさせることが課題であると捉えている。今後は、各教科等において「主体的・対話的で深い学び」を追究し、生徒の「探究する力」を育成できるようにしたい。

保護者	2.9
-----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
7	20	4	4

8 地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがあると思う。

生徒	2.6
----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
5	17	11	5

総合的な学習の時間では、地域の歴史や産業について学ぶ機会を設けている。今後も、地域社会との連携を図りながら、郷土への理解と愛着を深める学習を継続するとともに、「志」や「リーダーシップ」を育むことにつながる学びを充実させたい。

保護者	2.4
-----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
1	16	14	4

9 読書は好きだと思う。

生徒	2.7
----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
9	12	10	4

保護者	2.5
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
7	11	10	7

10 新聞を読んでいると思う。

生徒	1.2
----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
0	3	1	28

保護者	1.3
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
0	2	8	25

読書離れと読解力の低下は、本校においても憂慮される課題であると捉えている。学校においては、図書館教育と連携した読書活動の充実、新聞を活用した言語活動(短作文,スピーチ)を進めたい。また、家庭においても、生徒がインターネットやゲーム等を行う時間を減らし、本や新聞を読む習慣を身に付けられるようにしたい。

11 教員は、使命感・情熱・向上心、幅広い教養や社会性・確固たる倫理観等の素養を十分に身に付けていると思う。

保護者	3.3
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
12	20	3	0

12 教員は、教科等の専門的知識や技術を身に付けており、授業を通じて、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の資質・能力を育成していると思う。

保護者	3.3
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
13	20	2	0

13 教員は、生徒一人一人を理解しようと努め、家庭とも連携しながら、生徒指導上の諸課題への対応を適切に行っていると思う。

保護者	3.5
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
17	17	1	0

14 学校は、教育方針や教育活動について、家庭や地域社会に公開する機会の充実に努めていると思う。

保護者	3.5
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
19	14	2	0

15 学校は、運営に対する意見を聴取し、教育活動の改善・充実を図るなど、家庭や地域社会とともにある学校づくりに努めていると思う。

保護者	3.4
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
17	15	3	0

16 学校は、生徒に育みたい資質・能力を地域社会と共有し、カリキュラム・マネジメントを適切に行い、教育課程について不断の工夫・改善をしていると思う。

保護者	3.5
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
19	13	3	0

17 学校は、次代を担う生徒にとって何を優先すべきかを見定め、時間を最も効果的に配分し、生徒・教職員が可能な限り短い在校(活動)時間で、教育の目標を達成する成果を上げられていると思う。

保護者	3.3
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
13	19	2	0

学校(教職員)は、教育活動の質を高めることによって、持続可能な社会と人づくりを行うことが責務である。その重さを自覚し、一層の資質の向上に努めたい。また、学校からの積極的な情報発信、家庭や地域社会からの意見聴取を行うことによって、「社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」を進め、「信頼され愛される学校」を目指していきたい。

- 18 保護者:子どもと、テレビやゲーム、スマホ等をする時の約束(ルール)を決めている。
 生徒:携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットをすることについて、家の人と約束を決めていますか。

生徒	2.3
----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
14	0	0	19

スマホやインターネット等の利用時の約束については、生徒と保護者の意識の違いが見られる。家庭においては、時間や場所、フィルターの設定、利用状況の把握等、一定の約束が必要であると考えられる。今後は、インターネットやゲーム等の影響について医学的な見地から、生徒、保護者、教職員等が共に学ぶ機会を設けたい。

保護者	3.3
-----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
12	21	2	0

- 19 保護者:子どもには、困難や苦難を、成長するためのチャンスと捉えるように言っている。
 生徒:難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。

生徒	2.7
----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
6	13	14	2

予測不可能性が高まる未来社会を生きる生徒にとって、レジリエンス(失敗や逆境から素早く立ち直り、成長する能力)は何よりも重要な資質・能力であると考えている。そのような認識を学校・家庭・地域社会が共有し、生徒の主体性、学びに向かう力や人間性等を育むための多様な学びの機会を数多くつくり出したい。

保護者	3.1
-----	-----

【回答実数】

A	B	C	D
12	18	3	2

保護者様

いわき市立大野中学校長 田中 淳一

学校評価アンケートの結果について

寒冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
 また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき御礼申し上げます。
 さて、先日ご協力いただいた学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。
 本結果は、今後の学校経営・運営に生かしてまいりますのでよろしく願いいたします。

【集計方法】

- A: 当てはまる(4点)
- B: やや当てはまる(3点)
- C: あまり当てはまらない(2点)
- D: 当てはまらない(1点) として平均値を算出したものです。

1 学校に行くのは楽しいと思う。

生徒	3.0
----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
11	15	6	3

「当てはまる」と答えた生徒の多くは、「友達がいる」「授業が分かる」ことを理由に挙げている。「当てはまらない」と答えた生徒は、「勉強が好きではない」「友達との関係」を理由に挙げている。今後は、個々の生徒に応じた支援をするとともに、教育活動の質的充実を図ることによって、魅力ある学校づくりにつなげたい。

保護者	3.3
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
22	7	2	4

2 家で自分で計画を立てて勉強をしていると思う。

生徒	2.5
----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
4	13	12	5

家庭学習の習慣化は図られてきているが、自分の課題に応じて計画的に学習を進めるなど、質的な面では改善の余地があると考えている。今後は、「自ら計画を立て学習や生活を改善する力」、いわゆる「自己マネジメント力」の育成が必要である。学校と家庭がそれぞれの役割を明らかにしながら、連携を図っていききたい。

保護者	2.7
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
8	14	7	6

3 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしていると思う。

生徒	2.9
----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
10	13	9	2

生徒、保護者共に否定的回答の割合が高い。学校の内外で、試行錯誤したり、失敗の経験から学んだりしながら、目標の達成に向けて粘り強く取り組むことのできる資質・能力を育んでいきたい。

保護者	2.5
-----	-----

【回答実数】			
A	B	C	D
5	14	11	5